

地域	熊本県 熊本市	認定日	平成22年10月5日	通巻番号	8 - 22 - 41
----	---------	-----	------------	------	-------------

④新規用途開拓による地域農産物の需要拡大、ブランド向上

“水前寺のり”を利用した化粧品原料・化粧品の開発、製造および販売

九州の湧水で育つ“水前寺のり”から新たに発見された多糖類(サクラン™)が持つ保水力や保湿力、皮膚形成力が高いなどの特徴を活かして化粧品原料を製造し、スキンケア用の化粧品の開発、製造及び販売を行う。

➤ 連携体

農林漁業者

(有)喜泉堂 (水産養殖業)

“水前寺のり”を生産性の高い養殖方式により生産し、サクラン抽出用に適した原料を供給する。

グリーンサイエンス・マテリアル(株) (化学工業)

中小企業者

アクアサクラム(株)(その他の卸売業)

“水前寺のり”からサクランを抽出し、化粧品原料として販売する。さらにサクランの機能を最大限に発揮させるスキンケア化粧品を企画・開発し、ご当地コスメとして販路拡大に取り組む。

連携参加者

大東化成工業(株)、北陸先端科学技術大学院大学、熊本大学、金沢大学、崇城大学、熊本県産業技術センター

“水前寺のり”の養殖効率化、サクランの抽出と化粧品への応用等用途開発に協力する。

サポート機関等

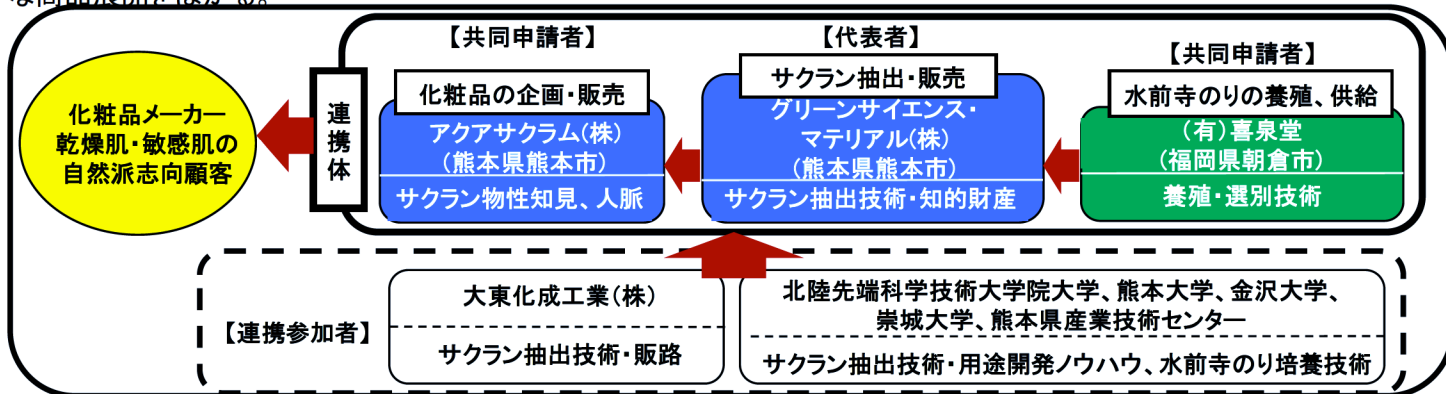
熊本商工会議所、(独)中小企業基盤整備機構九州支部

➤ 連携の経緯

“水前寺のり”からサクランが発見されたことを契機に、希少性の高い水前寺のりの高付加価値利用を開拓することで、種の保全と地域産業の振興に役立ちたいという考えの基にサクランの事業化を目指し連携に至った。

➤ 連携に当たっての課題や工夫等

“水前寺のり”の増産に向けて、採取のタイミングの最適化検討を行う。サクランの抽出においては、効率化によるコストダウンと高精製化に取り組む。またサクラン利用の化粧品ブランド(Maiko)の育成に向けて、積極的にサクランの発見者の在籍する大学を筆頭に研究機関と連携を行い、肌が弱い人向け化粧水など多様な商品展開をはかる。



➤ 連携による効果

農林漁業者

5年で960万円の売上高増加、水前寺のりの認知度および経済価値の向上

“水前寺のり”を食品以外に活用することで高付加価値化がはかられ、売上の増加と収益性の改善が期待される。

中小企業者

5年で11億564万円の売上高増加、新規雇用者数13人

自然の“水前寺のり”由来で保湿効果が高い化粧品として差別化が可能で、需要拡大と売上の増加が期待される。

➤ 代表企業等の連絡先

企業等名：グリーンサイエンス・マテリアル株式会社

TEL：096-289-7770

E-mail：shinichiro.kaneko@gsmi.co.jp

所在地：熊本県熊本市長嶺東4-12-25

FAX：096-289-7770

ホームページ：http://gsmi.co.jp